

令和5年度第2回 学校運営協議会 議事録

校名	府立思斉支援学校
校長名	井上 昌二

開催日時	令和5年11月29日(水) 10:00～11:00
開催場所	府立思斉支援学校 3階 学習室
出席者(委員)	赤坂会長(今市中学校校長)、栗山副会長(太子橋小学校校長)、 山中委員(豊里学園施設長)、西野委員(PTA役員) 三木委員(旭区障がい者基幹相談支援センター管理者)
出席者(学校)	井上校長、上野事務長、紙野教頭、末吉教頭、村上首席、大場首席、酒井首席 正木部主事、水江部主事、淵野部主事、中村進路指導主事
傍聴者	0名
協議資料	・令和5年度 学校経営計画及び学校評価(進捗状況) ・進路指導の現状について ・進路指導の現状について(写真)

議題等(次第順)
<ol style="list-style-type: none"> 1 校長あいさつ 2 令和5年度 学校経営計画進捗について 3 進路指導の現状について 4 その他
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>2 令和5年度学校経営計画について(進捗状況報告)</p> <p>◆安心安全な学校生活を送る体制をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権研修、次回3回目を予定している。 ・個人情報の誤配布が2件生起。今後の防止策については、個人情報管理委員会で検討している。 ・ヒヤリハットは、挙がってきたものを集計、分析して共有している。 ・校内の信号機を使った交通安全指導は、2月に3回目を予定している。 ・引き渡し訓練を初めて実施。様々な課題が挙がったので、次年度に向けて改善策の検討を進める。また、12月に大規模災害時の避難所開設訓練を予定している。 ・今年度から給食委員会を立ち上げ、食に関する取り組みを行っている。 ・子どもサポート室は、大谷大学の五位塚先生をスーパーバイザーとして招き、助言や研修を受けながら取り組んでいる。 ・会議を設定しない定時退庁日を水曜日に設定、全教職員による職員朝礼の廃止、全教員のタブレット端末所持・活用等を実施し、働き方改革を進めている。 <p>◆障がいの多様化に応じた教育活動の展開ができるよう教職員の資質向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次研修対象教員全20名が研究授業を実施、一部を公開授業とした。 ・外部研修には4名が参加し、校内教職員向けにオンデマンドで伝達講習を行っている。 ・エルチャレンジによる教員向けの清掃研修を実施した。

・ICTを活用した授業の事例をドライブにあげ、いつでも閲覧できるようにしている。現在、事例は30件ほど。年間100件を目標にしているので、引き続き取り組みたい。

◆小学部中学部高等部の継続性のある系統的なキャリア教育を実践する。

- ・学部間の交流授業を実施した。
- ・高等部卒業後の進路についての講話を小中学部教員向けに実施した。
- ・大阪市旭区役所の公用自転車メンテナンスを高等部でも実施している。

◆特別支援教育のセンター的機能を発揮し開かれた学校づくりを推進する。

- ・夏季に地域の教員向けに公開講座を実施した。
- ・各学部とも、地域の学校と交流及び共同学習を実施。居住地校交流も進めている。
- ・ほぼ日ブログで、日々の学校の様子を伝えている。
 - ・ミマモルメの活用を促進。保護者向けプリントはミマモルメで発出していく方針、保護者からの欠席連絡もミマモルメでの連絡が増加している。

<質問・意見等>

委員)

- ・コロナが明け、交流ができるようになったのは有意義である。作品展にも出品していただき、思斉の児童の作品も地域の方に見ていただけたのは有意義であった。
- ・本校の公開授業(年6回)にもぜひ来ていただき、国語の研究について指導案の書き方などを含め交流したい。支援学級の児童も研究授業に参加しているので、その視点からも見ていただきたい。

事務局)

- ・コロナによる制約も解消し、本校もコロナ以前よりも増して意義のある交流を進めたいと考えている。
- ・本校も公開授業、研究授業に積極的に取り組む予定であるため、連携について前向きに進めたい。

委員)

- ・校内でヒヤリハットの共有をされているとのことだが、どのくらいのスピード感で共有しているのか。
- ・地元の子どもとふれ合う機会が少ないので、地域との交流を充実していただけたら良いと思う。
- ・ICTの活用については、SNSの事件に巻き込まれることが考えられるが、学校ではどのように指導しているか。

事務局)

- ・ヒヤリハットが起きて、入力するまでのタイムラグは起きる。なるべく早く共有するようには意識して取り組んでいる。入力フォーム用のQRコードを職員室に貼り、読み込んですぐに入力できるように工夫している。
- ・居住地校交流については、今まで本校は件数が少なかった。主にクラス担任が業務を担っていたが、今年度から分掌に交流の担当を位置付け、組織的に業務を行う体制とした。希望者については、相手校との計画が整い次第、随時実施している。
- ・ICTの活用について、教員向けに情報モラル研修を行っている。生徒向けには、端末使用時の校内のルールとして、パスワードを教えないなどの指導を行っている。高等部では授業でSNSについて取り扱っており、先日も研究授業で、LINEのチャットが炎上する疑似体験の授業を行った。また生徒との会話の中で、積極的にSNSを取り上げ指導している。

委員)

- ・ヒヤリハットの件数が少ないと感じる。今現在は何件くらいあるのか、実際の事故報告はどれくらいあるのか。
- ・サポート室についてどれくらいの児童が利用しているのか。
- ・地域、福祉との連携について、学校経営計画の中で触れていただけると、メンバーが変わっても継続して続けていけるのではと思う。

事務局)

- ・ヒヤリハットの件数について4～7月の集計で6件。増えているとは言えない。
- ・事故報告については、ヒヤリハットと区別して事故に対しての分析をして共有している。
- ・サポート室の利用は今のところなく、これまでと同様に、担任や保健室が児童生徒からの相談業務を担っている。それらをサポート室で担っていくことが課題。その点についても五位塚先生の助言を仰ぎ11月からリスタートした。
- ・地域、福祉との連携については、今年度より外部連携チームを立ち上げた。管理職、首席で構成し、学年主任がサブメンバーに入っている。今までは主に担任が対応していた地域や福祉との連携を、チームのメンバーで対応している。放課後等デイサービスや相談支援の事業所からの授業見学依頼件数が昨年度と比較して圧倒的に増えている。ここ数年で一番外部機関との関わりが活発になっていると感じる。また、今夏に校区内全ての子ども相談室を訪問し、情報共有を行った。今後も顔が見える関係性を築いていきたい。

委員)

- ・保護者の引き渡し訓練について、電車が止まっているときはどうする、車はどこに駐車するなど色々考える機会になったので、やって良かった。
- ・高等部に上がる際、高等部の教員と子どものことについて話できる機会があればいいと感じた。
- ・居住地校交流は件数が増えて良かったなと思った。

事務局)

- ・大規模災害訓練と引き渡し訓練の反省を受け、現実味のある取り組みにしていけないといけないと考えている。
- ・教員と話をする機会については、入学検査の後となると家庭訪問が最初となる。教員間の引継ぎとしては中高連絡会を設定し、中学部と高等部の教員間で引き継ぎを行っている。今後は、保護者と話できる機会を考えていきたいと思う。

委員)

- ・オンデマンドで伝達講習はどんな形式で実施しているのか。

事務局)

- ・個人の端末でQRコードを読み込み閲覧する形式。閲覧したらドライブ内のシートにチェックをして、誰が閲覧済か皆が確認できるようにしている。ソフトバンクの助言を受け、教員個々の働き方に合わせてどの媒体でも情報にアクセスできるようにしている。

以上を説明し、承認。

3 進路指導の現状について(資料に沿って進路指導主事 中村より説明)

- ・就労率が令和元年度までは一桁。令和2年度以降大幅に増えている。職業コースの開設が、理由として挙げられる。開設2年目以降から数字として表れてくるようになった。職業コースは、高等部2年生から実施、グループに分かれ、教室の入退室、清掃の仕方など集中的に作業やビジネスマナーなどに取り組み指導することで、職業コース以外の生徒の意識向上にもつながった。また、本校は大阪府の支援学校の中でも就労率が低い方だったため就職率の向上に向けて、新規企業の開拓等、進路指導部の取り組みを強化したことも要因の一つと考えている。
- ・過去5年の離職者は7名。定着率にすると77%。これはJEED定着率68%(全国平均)より少し高い。
- ・企業実習について、実習先の業種は生徒の希望に加え、担任や進路部員と相談して決めている。
- ・生徒を対象に進路の研修を行っている。働くために必要なことなどを企業担当者に話してもらっている。
- ・保護者対象の進路学習会を今年度初めて行った。保護者の関心が高く、当初30名程度の予定だったが希望者が多く70名の参加があった。今後も保護者対象の学習会を行っていく。

<質問・意見等>

委員)

- ・就労継続支援A型(以下A型、B型)の件数が少ないのは、親御さんにA型がどんなものか伝わっていないのではと感じる。週5日の勤務ができるかなどがクリアできれば、B型と作業の難易度はほとんど変わらないのに給料は全然違う。

中村)

- ・進路指導部としてもご指摘と同様のことを考えており、今年度はA型の事業所の開拓を強化した。結果、今年度は4~5名がA型の事業所へ行く予定である。

次回の会議日程

日時	令和6年2月16日(金)
会場	府立思斉支援学校 学習室3